



花園大学 後援会事務局 〒604-8456 京都市中京区西ノ京壺ノ内町 8-1 Tel.075-279-3630 (直通) Fax.075-823-2412



後援会会長就任のご挨拶 会長 長島 義堂

— 新役員紹介 —

2024年度の役員は以下のとおり決定いたしました。任期は1年です。

- 会長 長島 義堂様
- 副会長 小坂 雅俊様
- 幹事 嶋村 さゆり様、藤田 宗裕様

会計監査は以下の2名です。任期は1年です。

- 監事 小川 里美様、小野寺 雅憲様

理事総数は14名です。

後援会会員の皆様には、日頃より後援会の活動にご協力賜り誠にありがとうございます。

この度、昨年度後援会会長の職を務めておりました、後藤宏道氏が退任となり、役員会で後任に推薦され理事会の承認により会長の職を務めさせていただくことになりました。令和4年度に後援会会長・令和5年度に後援会副会長をさせていただきましたが、もとより未熟者の浅学非才の身ではありますが、お受けしました以上は母校のため、花園大学の学生さんのために、小坂雅俊副会長をはじめ、各役

員、事務局の方々の協力を仰ぎながら後援会活動を進め、職責を全うしてまいりたいと思っております。

昨年5月より、新型コロナウイルスの扱いも2類相当から5類に変更となり、現在のキャンパス内は、クラブ・サークル・ボランティア活動もコロナ以前のように行われています。学生さんの若き活気に溢れたキャンパスライフが戻ってまいり、大学に行くたびに嬉しく思います。

今年度の後援会活動内容は、学生食堂支援として某テレビ番組でも放送されました、『後援会温玉ごはん』

150円の内50円を補助、「マインス100円朝食」100円負担+100円チケットの配布(開講期間中の月曜日限定)。健康面のサポートとして、京都工場保健会においての『健康診断』等の助成、また今後も学生さんからの要望につきましても、後援会と大学側で協議し、出来る限り助成し、大学と保護者の懸け橋となり、学生の皆様がより良い学生生活を送れるように活動してまいります。

会員の皆様には、引き続きご協力をいただきますようお願い申し上げます、会長就任の挨拶とさせていただきます。



誰一人取り残さない

花園大学学長 磯田文雄

スマホに支配される学生

日頃、花園大学の教育研究の充実発展のためにご支援いただいておりますことを厚くお礼申し上げます。おかげさまで本年度前期の授業もどごおりなく終了いたしました。

これから学生たちは、夏の合宿に、一カ月の海外留学に、あるいは実習に参加するなど、それぞれの目標と思いを胸に活動を広げていくものと考えています。

大学・短大進学率の上昇

令和六年度の花園大学入学者数は、三百六十七人で、令和四年度の三百八十八人から、令和五年度の三百二十人と回復傾向にあります。このことは、後援会、同窓会、高等学校、そして何よりも、本学を選んできたいた新入生及び保護者の皆様のおかげと深く感謝しています。

十八歳人口は、令和四年度百十二万人、令和五年度百十万人、令和六年度百九万人と減少傾向にあります。一方、大学の数は、令和三年度八百三校(対前年度

多様性と包摂

このような進学率の上昇を受け全国的に大学生の多様性は増えています。花園大学でも同様です。学生の多様性は教育研究活動の豊かな実現のためにはなくてはならないものです。個性豊かな多様な学生が本学に入学してくれたことを感謝しています。また、だれもが包摂され活躍できる花園大学になるよう努力しています。

しかし、政治の世界に目を向けると、トランプ前大統領支持者の掲げる「米國を再び偉大に」、習近平指導部の「中華民族の偉大な復興」、プーチン大統領が言う「偉大なロシア」と、「偉大さ」競争が展開されています。そして、忘れられている言葉が「寛容」です。私たちが求める「包摂」です。

花園大学は「誰一人取り残さない」を基本に、学生一人ひとりを大切にした教育に取り組んでいます。

コロナの制限を全く受けない夏休みは二回目です。しかし、今日の学生はコロナ禍前の学生ではありません。コロナ禍前の学生には戻っていません。コロナ禍を経験することにより、彼ら彼女らの中では、人と人との関係が激変しています。コロナ禍を経験した学生は、人と人との関係を慎重にしていねいに築いていきます。傷つくことを恐れます。そして、スマホをひと時も離せないほど、人間関係にスマホが入ってきています。人と

の関係においても スマホが決定的な役割を担っているのです。

スマホが人間関係を支配するに至る過程がこれまで少しずつ進んでいたのですが、コロナ禍により一気に進んでしまったのです。後戻りはなさそうです。でも、学生に言いたい。スマホをすてて人に会おう。夏休みが学生にとってそのような機会であってほしい。



5月7日の昼休みに無聖館前で花



「売り手市場」「早期選考」「AI」など、学生を取り巻く情勢は、年々変化し続けています。

本学では、進路サポートシステム「花☆サポート」(※)を活用し、毎年実施している基本企画を着実に実施することに加え、新しい取り組みを常日頃から考えて企画実行するよう心掛けています。

4 回生には、5月下旬から進路状況調査を行い、結果を元に架電し、個別相談や本学学生への採用意欲の高い多くの企業・団体の求人紹介、履歴書添削や面接指導など多岐にわたる個別サポートを行っています。

3 回生には、「就職ガイダンス」や「就活サポートイベント」(自己分析・仕事研究・筆記試験対策など)を開催しています。

1・2 回生には、必修の基礎教育科目「学びのナビゲーション」と連携、早くから進路サポート課に親しんでもらい、進路を考える第一歩を踏み出すきっかけ作りをしています。



2024年度入学式

春の穏やかな日差しに恵まれた2024年4月2日、2024年度入学式を挙行了し、学部生375名、大学院生8名、総勢383名の学生を新たに迎え入れました。

入学式は、横田南嶺総長の焼香・三拝から始まり、磯田文雄学長が教職員を代表してお祝いの言葉を述べるとともに、「経済がすべてではなく、

「経済がすべてではなく、なり、言語、文化、歴史、民族など経済以外の視点が重要度を増します。みなさんがこれから学ぶ仏教学、歴史学、文学、社会福祉学、臨床心理学、児童福祉学は、まさにその重要度が増す学問分野です。みなさん、それぞれの学問分野でしっかりと学んでください。」と式辞を述べました。

その後、新入生を代表して社会福祉学科の谷剛輝さんが力強く宣誓しました。

式には、保護者・ご家族の方にも多く参列いただき、厳粛な雰囲気の中にも、大学生として新たな一歩を踏み出す新入生の門出を祝うにふさわしい希望に満ちた入学式となりました。

その後、新入生はクラブやサークル紹介等の説明を受けました。同時に、保護者・ご家族の方には、別会場にて後援会活動や奨学金制度、学生支援等の取り組みについての説明を行いました。



2023年度学位記授与式

2024年3月15日、2023年度学位記授与式を挙行了し、学部生345名、大学院生3名が本学を卒業・修了しました。

学部を卒業された方の多くは、2020年4月に新型コロナウイルス感染症拡大の最中に入学されたため、入学式を行うことが出来ず、また、授業がオンラインに切り替わる等、多くの制約の中での学生生活となりましたが、学位記授与式では4年ぶりに保護者やご家族の方にも出席いただき、コロナ前と同じ形式で行うことが出来ました。

磯田文雄学長は式辞の中で、「新型コロナウイルス感

染症がまん延する中で大学生を送られ、苦境を乗り越えて、この場に集っていただけるみなさんの努力に敬意を表します。苦難を恐れず、際限のない社会の「大海」へ漕ぎ出して、「頑張って下さい」と述べられました。

卒業生・修了生を代表して文学部日本文学科の高橋千瑛さんは、「コロナ禍で制限の多いなかでも、新たな気づきを得られることを学び、多角的な視点を身につけることができました。花園大学での経験と学びを胸に歩んでいきます。」と謝辞を述べられました。

本学の公式マスコットキャラクターが決定!!



公式マスコットキャラクター:花まるだ

2024年5月1日(水)より本学の公式マスコットキャラクターを募集しました。短い募集期間でしたが、計26作品の応募があり、学生・教職員はもちろん、6月9日開催のオープンキャンパスに来場された方による投票を行なった結果、『花まるだ』が本学の公式マスコットキャラクターに決定しました。

禅宗の祖師である達磨大師をモチーフに、「だるま」を逆さ読みし、「花まるだ」にしました。誰にでも親しみやすいキャラクターとなっております。



—2024年度公開講座— 禅とこころ

横田南嶺総長の講義のみ花園大学ホームページ (<https://www.hanazono.ac.jp>)からご視聴になれます。

パソコン画面より視聴する方法



下の⑤へ